



美ら島沖縄

1 JANUARY 2023.
vol. 568

～ちゅらしまおきなわ～

特集 「沖縄県」この一年

読者
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP15を
チェック!





年頭のご挨拶

はいさいーいそーぐわちでーびる(明けましておめでとうございませう)。

県民の皆様には、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、沖縄が本土に復帰してから50年の節目の年でありました。復帰50周年記念事業として、天皇后陛下をお迎えしての「美ら島おきなわ文化祭2022」を始め、政府との共催による「沖縄復帰50周年記念式典」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」、さらに周年事業としては初めての取組となる県内高校生が企画立案し、次世代を担う小中高生が企画する事業を行うなど、多くの行事を実施することができ、本県にとって大変意義深い年となりました。

また昨年9月、私は新たに県民の負託を受け、知事として2期目をスタートいたしました。2期目の県政運営にあたっては、誇りある豊かな沖縄の未来を拓くため、ウィズコロナからアフターコロナへと回復を図りながら、1期目に着手・推進した施策をさらに深化させ、昨年5月に策定した「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき各種施策を展開してまいります。

特に、新型コロナの影響の長期化による深刻な経済状況や子どもの貧困問題等、重要性を増した課題等を踏まえ、次の3つの項目について重点的に取り組んでまいります。

1つ目は「県経済と県民生活の再生」です。

新型コロナの影響により厳しい状況に直面する県経済や県民生活について、成長著しいアジアに隣接し、人流、物流、投資、情報が集積するアジアの結節点として発展しうる潜在力等、沖縄のポテンシャルや魅力を生かした施策を展開し、県経済の再生や県民所得の向上を図ってまいります。



2つ目は「子ども・若者・女性支援施策のさらなる充実」です。

「沖縄県子ども貧困対策推進基金」を活用し貧困対策に全力で取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援や女性が働きやすい環境づくり、社会人としてスタートした若年者への支援など、子ども・若者・女性への更なる支援拡充を図ってまいります。

3つ目は「辺野古新基地建設反対・米軍基地問題」です。

平成25年に県議会議長及び41全市町村の首長・議会議長が「米軍普天間基地を閉鎖撤去し、県内移設を断念すること」を求めた建白書の精神、これまでの県知事選挙や県民投票で県民の皆様が一貫して示してきた辺野古新基地建設反対の思いを実現するため、揺るぎない信念を持ち、県民の先頭に立って取り組んでまいります。

誰もが輝き、誰もが尊重され、そして誰もが希望のうちに喜びを見つけることが当たり前を実現する島、幸福が真に実感できる沖縄を目指し、全身全霊で取り組んでまいります。県民の皆様には、引き続き県政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたしまして新年の御挨拶いたします。

くとうしん ゆたさるごとう うにげーさびら
(今年も よろしくお願ひいたします。)

令和五年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー



駐日ネパール大使ドゥルガ・パハドゥル・スペディ氏

11月14日に駐日ペルー大使ロベルト・セミノリオ氏、11月21日に駐日ネパール大使ドゥルガ・パハドゥル・スペディ氏、12月2日に台北市長柯文哲（かぶんてつ）氏が玉城知事を表敬訪問しました。



台北市長 柯文哲（かぶんてつ）氏



駐日ペルー大使ロベルト・セミノリオ氏

11/14
12/2

諸外国要人による知事表敬訪問

沖縄本島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルが開通し、県内全ての自治体が光ケーブルで接続されたことを記念して式典を開催しました。式典では沖縄県市町村自治会館と北大東村人材交流センターを映像中継で結び、関係者によるテープカットが行われました。

また、高速大容量な双方向通信環境を活用し、本島会場の琉球フィルハーモニックと北大東会場の大東太鼓・北曙会が遠隔地間での合奏を披露しました。



11/14

「北大東島海底光ケーブル」の開通記念式典の開催

11/24

「10th 沖縄大交易会2022」の開催

「食」をテーマにした日本最大級の国際商談会「10th 沖縄大交易会2022」が開催されました。

玉城知事はオープニングレモニーの主催者挨拶で、「東アジアの中心に位置する地理的優位性を活かした国際物流拠点・交易拠点としての沖縄の可能性を見出し、これを期待している」と述べました。また、沖縄大交易会10周年の節目となる今年度は、従来の商談会に加え、県民向けの全国特産品展示即売会等のイベントが開催されました。



11/17
11/18

「ResortTech EXPO 2022 in Okinawa」の開催

県内全産業のDX推進を目指す国際IT見本市「ResortTech EXPO」(以下「EXPO」という。)が開催されました。4回目の今年度は、国内外から過去最多となる150以上の企業等が参加し、ITソリューションの展示・商談が行われたほか、DXに関するセミナーや沖縄のIT産業の歩みを振り返る復帰50周年記念シンポジウムが開催されるなど、大きな盛り上がりを見せました。



県では、EXPOの開催支援も含め、ResortTech Okinawaの推進による産業DXの加速化に向けた各種施策を展開してまいります。

2023. JANUARY 美ら島沖縄 vol. 568

- 02 年頭のご挨拶
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集: 「沖縄県」この一年
- 06 沖縄あんやたんかんやたん -2007年~2011年編-
- 08 取り戻そう! 健康長寿おきなわ!
-あなたのお酒は百薬の長ですか?-
- 09 県の動き 1 (サッカーキャンプ&プロ野球キャンプ2023)
県の動き 2 (太陽光発電などの再エネ設備導入をお助けします!)
- 10 あの作品のロケ地へGO! 美ら島ロケ地めぐり[うるま市]
- 11 県の動き 3 (沖縄県・福建省友好県省締結25周年!)
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き 4 (離島フェア 2022 名品にちむどんどん 発見! とときめく島の推し)
- 15 読者プレゼント・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 令和4年11月1日現在

146万8,876人 総人口 ※前月比242人の増加
63万2,604世帯 世帯数 ※前月比522の増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式ツイッター
@okinawa_pref



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

美ら島沖縄



美ら島沖縄の設置場所

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの個別配布は致しかねます。ご了承ください。

今月の表紙



「沖縄の花々」

山里 美紀子

一年を通して気温が暖かい南国ならではの珍しい花、美しさに目を奪われます。身近にあって心を癒してくれる花たちを散策中に見かけて眺めたり、香りを楽しんでいる様子を描きました。

「沖縄県」 この一年

2022年は、沖縄にとって本土復帰から50年の節目の年であり、県では記念事業として、「美ら島おきなわ文化祭2022」、「沖縄復帰50周年記念式典」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」など多くの行事を実施しました。さらに、5月15日には、この先10年の沖縄の方向性を示す「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定するなど、大変意義深い年となりました。

また、令和元年に火災により焼失した首里城正殿の復興工事が始まり、スタートにあわせて実施した復興イベントは、首里城を想う皆様に着実に復元が進んでいることをお伝えする機会となりました。

今年も、策定した「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の取組を加速させ、平和で誇りある豊かさ「新時代沖縄」を更にその先へ進め、誰もが輝き、尊重され、そして希望のうちに喜びを見つけることができる島、幸福が真に実感できる沖縄を目指し、各種施策を展開してまいります。

5月				4月			3月				1月	
27日	15日	15日	7日	1日	1日	1日	31日	30日	28日	25日	9日	2日
第7回「山の国」全国大会の沖縄開催が決定 【新・沖縄21世紀ビジョン基本計画】を策定 沖縄復帰50周年記念式典の開催 建議書を発表 「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな」				おきなわ工芸の杜開館 県立那覇みらい支援学校開校 首里城復興課、感染症医療確保課の設置			【沖縄県子ども貧困対策計画(第2期)】を策定 10年後の県立病院の目指すべき将来像を定めた「県立病院ビジョン」を策定 県内野菜産地の糸満市において「きょうり」が初の拠点産地認定 【公立沖縄北部医療センター整備基本計画】を策定				玉城知事が会見で、県内で感染が広がる新型コロナウイルス感染症のオミクロン株は米軍基地由来であると推測される旨等を発表 ※コロナ関連 国が指定したまん延防止等重点措置を実施すべき期間の開始 ※コロナ関連 【実施期間】1月9日～2月20日	



本土復帰50周年の年を記念し、国と県の共催により、天皇后両陛下のオンラインでの御臨席のもと、沖縄と東京の2会場で沖縄復帰50周年記念式典を開催しました。



おきなわ工芸の杜は、「歴史・技術を伝える未来をつむいでいく」をコンセプトに、工芸品についての情報発信、作り手の支援、作り手と使い手の交流の拠点となる施設として開館しました。



県立学校24年ぶりの新設校として、「県立那覇みらい支援学校」が開校しました。小学部1年生から高等部3年生まで計240名が将来の自立と社会参加に向けて学んでいます。(令和4年5月1日現在)



「チムドンドン 魅力がいっぱい 県産品」をテーマに、沖縄の産業まつりが、3年ぶりに奥武山公園及び県立武道館で開催されました。3日間で23万9,100人の来場があり、賑わいを見せました。(～10/23)



糸満漁港に整備された高度衛生管理型荷捌施設を、沖縄県水産公社地方卸売市場(愛称:イマイユ市場)として開設しました。初競りでは、マグロ類や沿岸魚約14トンが水揚げされ、一番競りのメバチマグロに20,000円/kgと、過去最高値が付きました。



北部地区の人材育成及び教育環境整備の観点から、県立中高一貫教育校として「県立名護高等学校附属校中学校」が設置され、現在、令和5年4月開校に向けて取り組んでいます。

10月		9月				8月			
6日	1日	30日	23日	16日	9日	26日	26日	23日	17日
富町から初出場し、県勢過去最高の4位に輝いた	第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に竹富町から初出場し、県勢過去最高の4位に輝いた	北部地区に県立中高一貫教育校として「県立名護高等学校附属校中学校」を設置	辺野古埋立変更承認申請に対する不承認処分を取り消した国土交通大臣の判決を取り消すよう求める訴え(抗告訴訟)を、県議会の議決を得て那覇地方裁判所に提起	KINサンライズビーチ&海浜公園開園式	地域農業のリーダーとして、青年農業者3名指導農業者10名、女性農業者3名を認定するとともに、名誉指導農業者3名の方々に感謝状を贈呈	伊是名村への水道用水供給開始(水道広域化の実施)	離島振興の総合的計画である「次代を拓く持続可能な島づくり計画」新・沖縄21世紀ビジョン「離島振興計画」を策定	パラオ共和国と友好関係強化に関する覚書を締結	「沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画」を策定

8月					7月					6月						
15日	4日	3日	1日	1日	29日	22日	21日	20日	11日	1日	1日	1日	29日	13日	7日	3日
第11管区海上保安本部に対し、本土復帰以来50年間の離島急患搬送等の任務に対し感謝状を贈呈	【指定期間】8月4日～9月16日 国から「BA.5対策強化地域」に位置づけられる ※コロナ関連	※コロナ関連 1日あたりの新型コロナウイルス新規陽性者数が過去最高の6,000名超確認	西原高校マーチングバンド部受賞	沖縄空手世界大会2022の開催(～8/9)	「沖縄県医療非常事態宣言」の発出 ※コロナ関連	沖縄県系移民渡航記録データベースを公開	【発出期間】7月21日～9月29日	沖縄県平和祈念資料館の常設展示室への入館者数が800万人を達成	「第6次沖縄県観光振興基本計画」を策定	「沖縄県ちゅうらパーキング利用証制度」がスタート	宜野湾浄化センターで整備を進めていた、新たな水処理施設を供用開始	「おきなわSmart産業ヒジョン」を策定	2年4か月ぶりに国内クルーズ船が寄港(～6/30)	学校PCR検査事業を、有症状の小中高生がいる世帯への抗原検査キット配布事業(RADDEC)へ移行 ※コロナ関連	玉城知事による栗国村への行政視察を実施(～6/8)	陸上自衛隊第15旅団に対し、緊急患者空輸1万件到達に係る感謝状を贈呈



9月23日
金武町と連携し、ギンバル訓練場跡地に位置する海岸の整備を進め、KINサンライズビーチ海浜公園として令和4年9月に供用しました。



8月26日
パラオ共和国からオンラインでウィップス大統領、アイトロー国務大臣、その他多くの関係者のご臨席のもと、「沖縄県とパラオ共和国との友好関係の強化に向けた覚書(MOU)」の締結式を開催しました。沖縄県が他国との間で包括的なMOUを締結するのは、これが初めてとなります。



8月1日
世界中の沖縄空手の愛好家が「空手発祥の地・沖縄」に集結し交流を深め、沖縄空手の技や精神性を今後も正しく保存・継承し、沖縄伝統空手及び古武道の将来にわたっての振興を図ることを目的に沖縄空手世界大会が開催されました。(～8/9)



5月15日
本土復帰50周年となる5月15日に、これからの10年の方向性を示す「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、玉城知事から岸田内閣総理大臣へ同計画を手交しました。



11月3日
琉球王国の時代より、首里城の造営や修繕の際に行われていた「木曳式(こびきしき)」になり、使用する材木を首里城へ運び込むイベントを開催しました。寄付金を活用し県が調達した県産木材・オキナウラジログンをお披露目の機会となりました。



10月30日
10月30日に行われた第7回世界のウチナーンチュ大会「前夜祭パレード」では、約3200人以上の参加者が自国の民族衣装等を身にまとい、歌や踊りを披露しながら、国際通りをパレードしました。(～11/3)



10月28日
沖縄平和賞は、平成13年の創設から今年で21年目を迎え、本土復帰50年の節目である第11回沖縄平和賞は、「公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団立ゆめゆり平和祈念資料館」に贈賞しました。



10月22日
天皇后両陛下が即位後初めて御来県され、美ら島おきなわ文化祭2022の開会式への御臨席や沖縄戦没者墓苑での御供花のほか、大会関連行事や県内事情を御視察されました。(～10/23)

11月								10月													
30日	24日	24日	22日	17日	14日	12日	3日	3日	2日	30日	28日	22日	22日	21日	14日	11日					
の開催	国立沖縄自然史博物館誘致シンポジウム「日本初の国立自然史博物館を沖縄に」の開催	沖縄福建友好県省25周年式典の開催	「10th沖縄大交易会2022」の開催(～11/26)	第44回全国土地改良大会・沖縄大会の開催	「Resort Tech EXPO 2022 in Okinawa」の開催(～11/18)	北大東島海底光ケーブル開通記念式典の開催	「いご首里城 令和の木曳式」の開催	「エコライフ&ネイチャーフェア2022」未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館(令和4年度県民環境フェア)の開催	令和首里城復興イベント	「いご首里城 令和の木曳式」の開催	ハワイ州公共図書館・沖縄県立図書館 姉妹図書館協定書を締結	県の各分野で功績のあった方々を表彰する令和4年度沖縄県功労者表彰式の開催	令和4年度沖縄県功労者表彰式の開催	令和4年度沖縄県功労者表彰式の開催	第11回沖縄平和賞授賞式の開催	第7回世界のウチナーンチュ大会の開催(～11/3)	美ら島おきなわ文化祭2022(第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭)の開催(～11/27)	天皇后両陛下が美ら島おきなわ文化祭2022及び地方事情御視察のため本県へ行幸啓(～10/23)	「第46回沖縄の産業まつり」の開催(～10/23)	「沖縄県総合交通体系基本計画」を策定	県内初の高度衛生管理型卸売市場「イマイコ市場」を開設

帰郷を返る
50年を
沖縄振り

沖縄あんやたん かんやたん



2007年～2011年編

2022年5月15日で沖縄が本土復帰して50年。復帰からの50年を毎年5年ごとに振り返り、主なニュースや出来事と共に紹介。その当時を知らない人は学びながら、その当時を知る人は「あんやたん、かんやたん(ああだった、こうだった)」と懐かしみながらその時代を振り返ってみましょう！

協力：沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 共同研究員 仲村 顕

県勢の好成績で沸いた スポーツ！注目を集める 沖縄の文化と芸術

2007年から11年の間、今でも語り継がれる大きな出来事といえば、「興南高校の甲子園春夏連覇」が挙げられます。春の甲子園では1999年の沖縄尚学以来、夏の甲子園では県勢初の優勝となりました。この大会で大活躍した島袋洋奨選手は後にプロ野球入りを果たし、引退後は母校で後進の育成に当たっています。またプロゴルフの世界では、宮里藍選手と宮里美香選手の「W宮里」が好成績を記録するなど、様々なスポーツで県勢の活躍が見られました。

一方、沖縄を代表する伝統芸能「組踊」がユネスコ無形文化遺産に登録され、組踊の世界から人間国宝が誕生。県立博物館・美術館の開館もあり、文化や芸術の世界でも、注目を集める大きな出来事が続きました。



エースの島袋洋奨投手の好投と強力打線が実力を存分に発揮しました



提供：沖縄タイムス社

史上6校目の快挙を達成

興南高校春夏連覇

興南高校が高校野球の甲子園で、1998年の横浜高校以来、史上6校目となる春夏連覇の快挙を達成しました。我喜屋優監督の「逆境を友達に」という指導論も全国から注目を集めました。また、県は同年9月、興南高校野球部に県民栄誉賞を贈りました。

ここがポイント

そのほか沖縄からの出場校としては、選抜高等学校野球大会(春の甲子園)で沖縄尚学高校が2度(1999、2008年)、優勝しています。

2007年~2011年 その他主な出来事

2007年

- 集中豪雨で安里川が氾濫し、近隣に大きな被害をもたらす
- 沖縄戦の記述について教科書検定意見撤回を求める県民大会が実施される

2008年

- 南米ブラジル・アルゼンチンで県人移民100周年式典開催
- 北京パラリンピックの陸上男子マラソン(車いす)で上与那原寛和氏が銀メダル獲得

2009年

- 琉球ゴールデンキングスがbjリーグ参入2年目で初優勝
- 琉球舞踊が国の重要無形文化財に指定、保持者39人が総合認定される

2010年

- 沖縄本島近海で地震が発生し、約100年ぶりの震度5相当を観測
- 政府は米軍普天間飛行場の県外移設を検討の末、名護市辺野古への移設に再度決定

2011年

- 西江喜春氏が「組踊音楽歌三線」の人間国宝に認定
- 第5回世界のウチナーンチュ大会が開催され、史上最多の7,363人が参加

沖縄の歴史・文化・芸術が一堂に集まる



沖縄県立博物館・美術館 オープン

那覇市首里から移設された県立博物館と、新設の県立美術館が併設された複合施設が那覇市おもろまちに開館しました。沖縄の歴史や文化などの研究・調査と地域活性化の両方の役割を担っています。



提供:沖縄県立博物館・美術館

2007年



提供:沖縄タイムス社

2010年

沖縄が誇る伝統芸能が世界へ羽ばたく

組踊がユネスコ無形文化遺産に登録

ユネスコは、「人類の無形遺産の代表的な一覧」に組踊を登録することを決定しました。県内からの登録は初となり、組踊は沖縄が世界に誇る無形文化遺産として認められました。



恩納村で世界最高水準の教育と研究を 沖縄科学技術大学院大学(OIST)が設立

沖縄の自立的発展と世界の科学技術向上に寄与することを目的に政府主導で設立されました。生徒の80%が外国人とグローバルな大学で、シュプリンガー・ネイチャー社の「質の高い論文ランキング2019」では東大や京大を抜いて世界9位に選ばれました。

先端技術で事業を起こすスタートアップの育成にも注力しています



提供:OIST

2011年



ここがポイント

2022年10月には、OISTに在籍するスバンテ・ペーボ教授がノーベル賞(ノーベル生理学・医学賞)を受賞して、国内における存在感を知らしめました。

島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

naure(ナウレ)のタヌマオイル

宮古の池間島に防風林として植えられてきた、テリハボクの種子から作られるスキンケアオイル。製造の行程で一切熱を加えていないのでビタミンなどの有用成分を壊すことなく、美しい肌へと導きます。一方、製品づくりを通して、島の自然と人々の暮らしを豊かにすることも目指しており、例

えば島内で全ての作業を行うことで仕事を生み出し、地域経済の活性化に寄与しています。また自然落下した種子を使うため、既存の自然に負荷をかけることなく、残渣(ざんさ)は全て畑などの肥料として活用し、廃棄物の減少につながります。



【問い合わせ】
ヤラブの木
☎0980-75-2501
<https://yarabutree.com/>



HP